

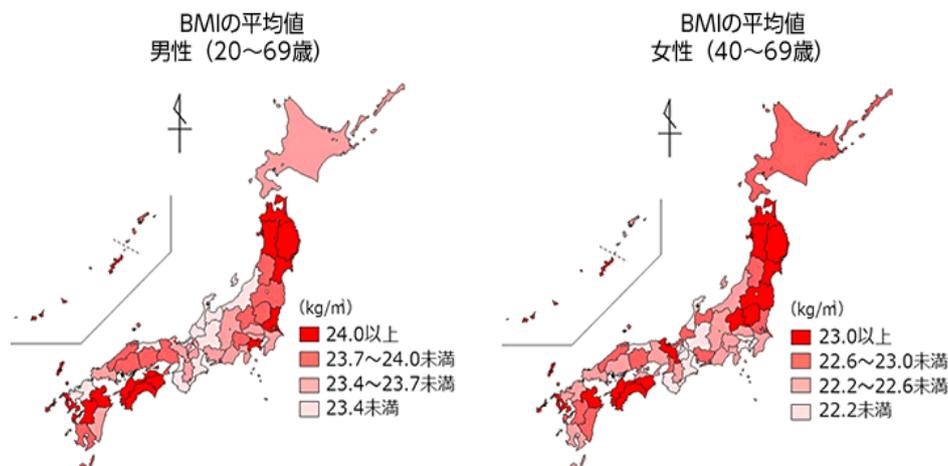
平成 28 年国民健康・栄養調査の企画について（案）

1. 拡大調査の調査目的

全国の代表値の把握に加え、健康日本 21（第二次）の中間評価に向けて、地域ごとに把握、比較分析し、健康づくり施策を展開していくための資料とするため、調査地区を拡大した国民健康・栄養調査（拡大調査）を実施する。

	平成24年	平成28年	平成32年
健康日本21（第二次）の推進	ベースライン実態把握	中間評価	最終評価
国民健康・栄養調査	拡大調査実施（都道府県格差の把握）		

（参考）平成 24 年国民健康・栄養調査結果における都道府県の BMI の状況



2. 調査方法

	平成 28 年	（参考）平成 24 年
調査客体	平成 22 年国勢調査から無作為抽出した全国 475 地区の世帯 （1道府県当たり 10 地区、東京都 15 地区） 約 23,750 世帯、約 61,000 人	平成 22 年国勢調査から無作為抽出した全国 475 地区の世帯 （1道府県当たり 10 地区、東京都 15 地区） 約 23,750 世帯、約 61,000 人
調査時期	平成 28 年 10～11 月	平成 24 年 11 月中及びその前後一週間（10 月 25 日～12 月 7 日）

＜都道府県比較に必要な1都道府県当たりの地区数＞

○都道府県別比較における誤差率について

平成24年国民健康・栄養調査（拡大調査）の実施結果における誤差率は、表1のとおりであった。

表1 平成24年国民健康・栄養調査（拡大調査）の実施結果における誤差率

	誤差率* (%)
1. BMIの平均値(kg/m ²)	
男性(20～69歳)	1.5
女性(40～69歳)	1.6
2. 野菜摂取量の平均値(g/日)	
男性(20歳以上)	4.8
女性(20歳以上)	4.6
3. 食塩摂取量の平均値(g/日)	
男性(20歳以上)	3.4
女性(20歳以上)	2.9
4. 歩数の平均値(歩/日)	
男性(20～64歳)	5.3
女性(20～64歳)	5.6
5. 現在習慣的に喫煙している者の割合(%)	
男性(20歳以上)	10.8

* 80%の県で達成できる誤差率

【参考：平成24年調査企画時のシミュレーション結果】

・統計学的に、誤差率が5%以下になる地区数

シミュレーションの結果からみて平均値で示す指標（連続変数）の代表例の野菜摂取量（男性・20歳以上）は図1のとおり30～40地区、割合で示す指標の代表例としての喫煙率（男性・20歳以上）は図2のとおり60～70地区で、誤差率が5%以下となる。

図1 野菜摂取量（男性・20歳以上）

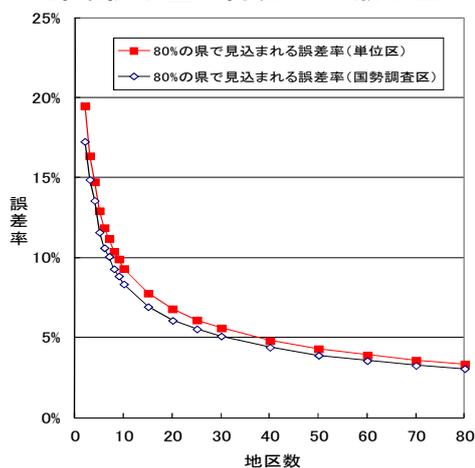
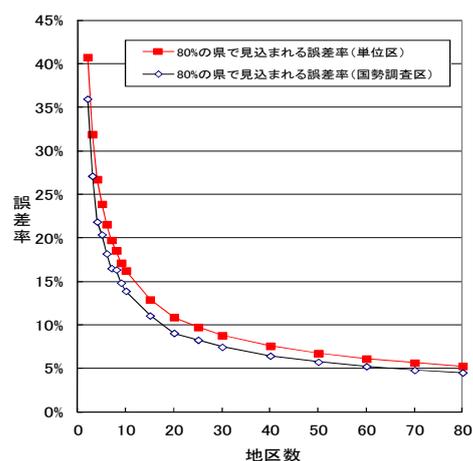


図2 喫煙率（男性・20歳以上）



○平成 24 年国民健康・栄養調査（拡大調査）の実績

平成 24 年国民健康・栄養調査（拡大調査）では、1 道府県あたり 10 地区、東京都 15 地区で調査を実施している。

平成 28 年度調査に係る予算については、平成 24 年国民健康・栄養調査と同規模で同様の項目での実施が可能な予算を確保したところ。

なお、調査時期については、平成 24 年調査では、11 月中及びその前後 1 週間としたが、平成 28 年度調査においては、調査対象者への事前説明に時間を要することから、10～11 月の 2 か月間とする。

上記の検討をふまえ、調査客体は以下のとおりとする。

拡大調査：

《調査地区数》 1 道府県あたり 10 地区、東京都 15 地区

全国 475 地区の約 23,750 世帯、約 61,000 人

《抽出母体》平成 22 年国勢調査地区から、無作為抽出